

## Unit4 Be Prepared and Work Together

1 日 時 令和5年10月11日(水) 第 校時 12:40~13:30

2 学年・学級 第3学年B組 (男子17名, 女子13名 計30名)

3 場 所 3年B組教室

4 単元の目標

- (1) 間接疑問文と SVOO(what 節)の文, 現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。【知識】
- (2) 間接疑問文と SVOO(what 節)の文, 現在分詞・過去分詞を用いた文の理解をもとに, どこにあるか, どのように行動するかなどを伝え合ったり, 言葉に情報を加えて説明したりする技能を身につけている。【技能】
- (3) 外国の人たちが災害時にどのようなことに困るのか, またそのための取り組みについて書かれた英文を読んで, 内容が理解できる。【知識・技能】
- (4) 外国の人たちの体験談や支援について書かれた文章の要点を捉えたり, 災害時にどのような行動をとるべきかや標識が何を意味しているかについて話したり書いたりしている。【思考・判断・表現】
- (5) 身近な防災標識に書かれている情報について, この単元で学んだ言語材料や既習事項を活用し, 相手に伝えようとしている。外国の人たちに身近な防災標識が何を意味しているかや災害時にどのような行動をとるべきかについて, 自ら進んで調べたりするなど, 書いたり話そうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

5 単元設定の理由について

(1) 単元観

中学校学習指導要領「(5) 書くこと」の「ア 関心のある事柄について, 簡単な語句や文を用いて正確に書くことができるようにする。」

本単元は, 防災について扱ったものである。外国の人たちの災害体験談を読み取り, 災害時にどのような行動をとるべきかわからなかったことや, 困った人を見かけたとき, どのような行動をとるべきかを考えることができる。災害の多い日本に住んでいることや, 多くの外国の人たちが来日していることを知り, 自分を守る行動をとり, 他者を守るという意識を高める単元である。

言語材料として, 間接疑問文, 現在分詞・過去分詞が取り扱われている。間接疑問文では, 「いつ」「何を」「どこで」「どのように」を使い, いろいろなことを説明できる内容となっている。また, 現在分詞・過去分詞においては, すぐ前の名詞を説明する相手により詳しく情報を伝えることができる。これらの言語材料を使い, この単元の目標である「ALT の先生に災害標識を説明したり, 災害時にどのような行動をとるべきかを伝えることができる。」を達成できるものとなっている。

本時では, ALT の先生に災害時に, 情報を整理し, 何をどのように伝えるかを英語で交流する時間となる。

## (2) 生徒観

問題の概要	学習指導要領の領域	正答率 (%)			無回答率
		本校	広島県	全国	本校
友達からのメールを読み、相手が示した条件に合うイベントとして最も適切なものを選択する	読むこと	21.6	33.4	35.9	2.0
図書館について書かれた英文を読み、文中の空所に入る適切な語句を選択する	読むこと	45.1	62.1	59.8	3.9
ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く。	書くこと	5.9	18.9	19.5	51.0

### 1 学期生徒アンケート結果

質問項目	結果 (%)
英語の授業は、「できた」「わかった」と感じることがある。	70
タブレットや電子黒板の活用は、自分の力を伸ばすことにつながっている。	89
友達は、自分のよいところを認めてくれている。	92
地域や社会のために、何か役に立つことをしよう意識して行動している。	84
学校生活（授業や生活）の中で、仲間を大切にしている行動をすることができた。	98

4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果から、「読むこと」と、「書くこと」に課題がある。領域「書くこと」の無回答率が51.0%になっており、他の無回答率より高くなっており、自分の意見と理由を書く力が低いことがわかる。

1 学期生徒アンケート結果から、英語の授業の理解度は他と比べると低いが、タブレットや電子黒板は自分の力を伸ばすうえでは必要なものであると考えている。友達を認め、仲間を大切にすることや、地域や社会のために何か役立つことを行動しているの肯定的解答が80%以上になっている。

## (3) 指導観

間接疑問文では、1年生の時に学んだ疑問詞についての扱いを復習し、疑問詞を含む文が別の文の中に入ると、疑問文が肯定文になることを多くの英文に触れることで気づかせる。現在分詞と過去分詞がそれぞれすぐ前の名詞を後ろから修飾していることや、日本語と語順が逆になること、現在分詞は「～している」、過去分詞は「～された、～されている」ことをできるだけ多くの英文を和訳させるなどして習得させる。これらの言語材料において、自己表現ができるように、書くことの指導を特に多く取り入れるようにする。タブレットや電子黒板を使用し、分かりやすく説明していく。

まとまりのある英文を読み、必要な情報を読み取る力をつけるために、帯学習でまとまりのある英文を読み取る時間を取り入れる。英文に対する簡単な質問を与え、グループで協力して答えさせていく。一方的に説明するのではなく、対話的な指導を通して、生徒が自分の得意とするところや苦手とするところを把握し、主体的に学ぶ姿勢を養うようにする。ペアやグループ活動をできるだけ多く取り入れ、教え合いやお互いをより理解する機会を増やし、安心して授業に取り組む環境を作っていく。

6 単元（題材）の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①間接疑問文とSVOO(what節)の文, 現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>②間接疑問文とSVOO(what節)の文, 現在分詞・過去分詞を用いた文の理解のもとに, どこにあるか, どのように行動するかなどを伝え合ったり, 言葉に情報を加えて説明したり, 書く技能を身に付けている。</p> <p>③外国の人が災害時にどのようなことに困るのか, またそのための取り組みについて書かれた英文を読んで, 内容が理解できる。</p>	<p>①外国の人の体験談や外国人の人への支援について書かれた文章の要点を捉えている。</p> <p>②標識が何を意味しているか, について書いたり話している。</p> <p>③災害時にどのような行動をとるべきかを英語で書き, 相手にわかりやすく伝えている。</p>	<p>①身近な防災標識に書かれている情報や災害時にどのような行動取るべきかについて, この単元で学んだ言語材料や既習事項を活用し相手に伝えようとしている。</p> <p>②外国の人に身近な防災標識が何を意味しているか, 災害時にどのような行動をとるべきかについて, 英語で説明をするために, 自ら進んで調べ, 書いたり話そうとしている。</p>

7 単元の指導と評価の計画(全時間)

時	学習活動	評価					つけたい 資質能力
		知 技	思 表	主 体 的	評価規準	評価 方法	
1	<p><b>Preview</b></p> <p>■単元の目標を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・阪神淡路大震災, 東日本大震災そして西日本豪雨災害の画像を見る。</li> <li>・訪日, 在日している外国人の人たちはどんな気持ちだったかを考えさせる。</li> <li>・道路標識, 防災標識を提示し, どのような意味を持っているか考えさせる。</li> <li>・単元の最後に, ALT のトム先生へ災害時にどのような行動をとるべきかを英語で説明することができるようになることを伝える。(パフォーマンステスト)</li> <li>・教科書58ページの音声を聞き, 分かったことを書き, 班で交流する。</li> </ul> <p><b>Scenel</b></p> <p>■間接疑問文を用いた文の形・意味・用法を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の大まかな内容を聞き取り, 間接疑問文を取り上げ文の形・意味・用法を確認する。</li> <li>・本文において, 質問に対する回答人数を読み取り, 現状について感想を交流する。</li> </ul>	○			<p>関節疑問文を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p>	<p>後日 ペー パー テス ト</p>	<p>「基礎・基本」の力</p>

2	<p>Scene1</p> <p>■本文の内容を詳しく知り、外国の人達に対する課題を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語やこれから出てくる単語の発音と意味を確認する。</li> <li>・本文の内容を確認し、音読する。</li> <li>・意識調査結果から何がわかり、何が必要かを考え、班で交流させる。</li> </ul>		○		調査結果の内容を読み取り説明している。	行動観察	「基礎・基本」の力
3	<p>Scene2</p> <p>■SVOO(what 節)を用いた文の形・意味・用法を理解する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文の大まかな内容を聞き取り、SVOO(what 節)を取り上げ、文の形・意味・用法を確認する。</li> <li>・本文において、メグと朝美が何について話しているかを班で交流する。</li> </ul>		○		間接疑問文とSVOO(what 節)の文を理解している。	後日ペーパーテスト	「基礎・基本」の力
4	<p>Scene2</p> <p>■本文の内容を詳しく知り、避難時に何が必要かを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語の発音と意味を確認する。</li> <li>・本文の内容を確認し、音読する。</li> <li>・非常持ち出し袋について何を入れるべきかを班で話し合わせる。</li> </ul> <p>Mini Activity</p> <p>■間接疑問文とSVOO(what 節)を活用し表現活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・リスニングやモデル文から間接疑問文の使い方を確認し、ペアで表現活動をする。</li> </ul>		○		間接疑問文とSVOO(what 節)の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の理解のもとに、どこにあるか、どのように行動するかなどを伝え合う技能を身に付けている。	ワークシート	思考力・判断力・表現力
5	<p>■現在分詞と過去分詞が名詞を詳しく説明することを理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在分詞は「～している」、過去分詞は「～される」の意味をもつこと、語順などを多くの英文に触れることで気づかせる。</li> </ul>		○		現在分詞・過去分詞を用いたの形・意味・用法を理解している。	後日ペーパーテスト	「基礎・基本」の力
6	<p>Read and Think 1</p> <p>■本文の内容から、日本で地震にあった外国の人たちがどのようなことに困ったかを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語の発音と意味を確認する。</li> <li>・本文の要点を捉え説明する。</li> <li>・それぞれの外国の人に対して、私たちはどのようなことができるかを考える。</li> </ul>		○		外国の人の体験談について書かれた文章の要点を捉えている。	ワークシート	思考力・判断力・表現力

						行動観察	
7	<p>Read and Think 1</p> <p>■地震にあった外国の人に対して、私たちができることを英語で表現する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本文内容をペアで音読し、内容を確認する。</li> <li>・アナウンスを聞き困っている外国の人たちに伝えたいことを英文で書く。</li> <li>・班でその英文を交流し、もう一度自分の英文を見直させる。</li> </ul>	○			困っている外国の人たちに伝えたいことを書く技能を身につけている。	ワークシート 行動観察	思考力・ 判断力・ 表現力
8	<p>Read and Think 2</p> <p>■本文の内容から外国の人たちへの支援や取り組みを読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新出単語の発音と意味を確認する</li> <li>・本文の要点を捉え説明する。</li> <li>・要約文を完成させる。</li> </ul>		○		外国の人たちへの支援について書かれた文章の要点を捉えている。	ワークシート 行動観察	「基礎・基本」の力
10	<p>Unit Activity</p> <p>■災害標識について、情報を読み取り英語で言えるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害標識に慣れ、どのような情報が書かれているのか理解する。</li> <li>・災害標識を説明したモデル文を読み、相手に伝える。</li> <li>・災害標識についての説明を2文以上の英文で書く。</li> </ul>	○			間接疑問文とSVOO(what節)の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の理解のもとに、どこにあるか、どのように行動するかなどを伝え合ったり、言葉に情報を加えて説明したり、書く技能を身につけている。	ワークシート 行動観察	思考力・ 判断力・ 表現力
11	<p>■災害時にどのように行動するかを英語で伝える内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・場面設定を班ごとに決め、災害時にどのように行動するべきかを英語で考える。考えた内容を英語で書く。</li> <li>・班内で伝える練習をする。相手意識を持ち、どのように伝えたらよいかを考えながら練習をする。</li> </ul>			○	②外国の人に身近な防災標識が何を意味しているか、災害時にどのような行動をとるべきかについて、英語で説明をするために、自ら進んで調べ、書いたり話	行動観察	思考力・ 判断力・ 表現力

					そうとしている。		
1 2 本 時	<p>■災害時にどのように行動するかをわかりやすく英語で伝える。</p> <p>・災害時の行動について書いた内容を班で交流し、お互いアドバイスをする。</p> <p>・自分が書いた説明文を読む練習をする。</p> <p>ペアで相手に伝えるときにどのようなことを注意すべきかを考えながら、読む練習をする。</p>			○	②外国の人たちに身近な防災標識が何を意味しているか、災害時にどのような行動をとるべきかについて、英語で説明をするために、自ら進んで調べ、書いたり話そうとしている。	ワークシート 行動観察	思考力・ 判断力・ 表現力
1 3	<p>パフォーマンステスト</p> <p>■ALT のトム先生に災害時にどのような行動をとるべきかについて、自分が考えた英文を伝えることができる。</p> <p>・相手にどのように伝えたらよいかを考えて伝える。</p> <p>・振り返り・・・防災・安全への関心を高め、地域の一員として防災に取り組む意識を持つことができた。</p>	○	○	○	③災害時にどのような行動をとるべきかを英語で書き、相手にわかりやすく伝えている。	評価シート	高い志と チャレンジ精神

8 本単元において育成しようとする資質・能力について

- ・「基礎・基本」の力
- ・思考力・判断力・表現力
- ・高い志とチャレンジ精神

9 本時の展開

(1)本時の目標

今まで学んだ表現を使い、災害時にどのような行動をとるべきかを英語で相手に伝える。

(2)本時の評価規準

	主体的に学習に取り組む態度
a	3文以上の英文を書いている。 仲間の発表をよく聞き、評価シートにすべて記入している。
b	2文で英文を書いている。 仲間の発表を聞き、評価シートに記入している。
c	1文で英文を書いている。 仲間の発表を聞いていない、評価シートに記入していない。

(3)本時の準備物

CD プレイヤー，電子黒板，ワークシート

(4)本時の学習過程

学 習 活 動	指導上の留意事項 (◇) (◆「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準〔観点〕 ★資質・能力 (評価方法)
1 導入 [10分]		
○あいさつ ○リスニング ○Q&A ○リーディング ○前時の復習	◇答え合わせでは積極的に挙手をさせる。 ◆読み方プリントを配布する。 ◇ペアで内容確認をする。 ◇本時に使うと予測される単語の発音練習をする。	
2 本時のねらいを確認する [3分]		
○本時のめあてを確認する。	◇前時までに書いた英文をグループで交流し、聞き手にわかりやすくするためにはどうしたらよいかを考える時間にする。	
<p>めあて 今まで学んだ表現を使い、災害時にどのような行動をとるべきかを英語で相手に伝える。</p>		
3 本時のミッションを確認する [5分]		
○ミッションを知り、本時の学習の流れを理解する。	<p style="text-align: center;"><b>ミッション レポーターになりきれ!</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・台風テレビ中継の動画を見せ、相手に伝えるためには何が必要かを気づかせる。</li><li>・災害時にどのような行動をとるのべきかを3文以上で伝えることができるようになる。</li><li>・話し手は、英文の伝え方を2種類準備し伝える。聞き手は、2種類の話し方の何が違うのかを伝え、評価シートに記入する。</li></ul>	
4 災害時にどのような行動をとるべきかについての英文を相手に伝える [20分]		
○交流する。 自分が書いた災害時の行動についての英文を伝え。	◆読み方がわからない単語の読み方を事前に指導する。 ・班机にし、一人ずつ自分が書いた英文を聞き手に伝える。聞いた人は、それに対して評価シートに記入し、話し手が何に気を付けて話したかを伝える。 評価シート (○△で記入) 評価項目 1 視線・・・聞いている人に向けていた。 2 声の大きさ・・・聞きとれた。 3 英文・・・なめらかに読んでいた。 (文章記入) 4 いけなかったところ 5 よかったところ	
5 自分が書いた英文を再考する。 [3分]		



○再考する。	◇交流をもとに英文を書き直させる。	
6 本時のふり返しをして、次時につなげる [9分]		
○自分の書いた英文と伝え方についてふり返る。	◇班で一人、発表者を決め、発表させる。 ・振り返りシートに英文の伝え方についてふり返りをさせる。	

書かせたいふり返し

- ・口のなかでもごもご言うのではなく、口をしっかりと意識して動かせばよく聞こえてわかりやすかった。
- ・相手をよく見て絵などを準備すればもっとわかりやすくなると思った。

(5)板書計画

**Wednesday, October eleventh**

リスニング Q&A リーディング 前時の復習	<p><b>めあて</b>  今まで学んだ表現を使い、災害時どのような行動をとるべきかを英語で相手に伝える。</p> <p><b>ミッション</b>  レポーターになりきれ！</p>
---------------------------------	---

**ふり返し**